



本物と出会う旅（修学旅行記）

この上ない晴天に恵まれた10月17、18日。6年生の修学旅行に同行してきました。

1日目。わくわくした気持ちでバスに乗り、浜松駅に向かいました。アクトタワーを見て「都会に来た！」と既にテンションが上がっていた人もいました。新幹線に乗り一路東京へ。車窓からは頂上付近に雪をかぶった富士山を間近に見て歓声を上げてしまいました。東京駅で降り、山手線のホームへ。はぐれないようにひたすら前の人の背中を追いかけてきました。全員無事に山手線に乗り、上野公園に到着。「国立科学博物館」では、生命の進化や地球の生物の多様性を迫力のある展示物からひしひしと感じました。「上野動物園」ではたくさんの動物たちと出会い、癒しのひと時を過ごしました。パンダ（リーリー）の野性味を失った食事風景には思わず笑いがこみ上げてきました。



次に訪れた「国会議事堂」。日本の政治の中心のその建物は、外観だけではなく内部のつくりや警備体制など、どこをとっても大変重々しさを感じました。見学していたある児童が発見したこと。「なんでこの建物には女子トイレが少ないの？」日本の近代政治の歴史や、現在の日本の社会の問題点につながるような大変興味深い疑問をもつことができました。

1日目最後の見学場所は「東京スカイツリー」。遠くからもその美しい立ち姿が見られ、胸が高鳴りました。近づくにつれその大きさに圧倒されると同時に、よくぞこのようなものをつくったと感動さえ覚えました。少々霞がかかっていたましたが、遠くに筑波山や丹沢山地、千葉県の方にある遊園地や横浜の方にある高いタワーなどが見渡せて感動しました。田舎の寒村だったこの地に徳川家康が江戸の街並みを造り上げたこと、100年前に関東大震災で壊滅的な被害を受けたこと、東京大空襲で焼け野原になったこと、戦後急速に近代都市へと生まれ変わったことなどいろいろなことを考えてみました。夕焼けが消えかかるころ見学を終えてタワーから離れると、レインボーカラーにライトアップされたスカイツリーを楽しむこともできました。夕食は豚カツとカレーライス。みんなで食べるとついついたくさん食べてしまい、おなかが苦しくなりましたね。

高級ホテルでの宿泊と朝食ビュッフェを楽しんだ後、修学旅行の最大のイベント「キッザニア」でのお仕事体験に向かいました。70近いパビリオンの中から体験したいところを選んで自分で申し込み、いろいろな仕事を体験しました。専用の制服を着て作業をしたり、実際に食べ物を作って食べたり、新郎新婦になってウェディングプランナーの仕事を学んだり、裁判官になって判決を言い渡したり…。臆することなく自分で考えて積極的に体験を行っている姿に感動しました。

旅先でしか出会えない「本物」に触れることで、6年生の皆さんもひとまわり成長したのではないのでしょうか。11月から始まる「実りステージ」につなげていきましょう。（校長 松井 信治）